

アースデイはまつ2011 イベントレポート

アースデイはまつ2011

実行委員長 甲田裕規



2011年のテーマは「ありがとう地球 ～人・もの・自然に感謝～」

4月22日の「アースデイ(地球の日)」にちなんで、4月24日(日)に第4回目となる「アースデイはまつ2011」を遠州灘海浜公園にて開催しました。

今年は、「ありがとう地球」をテーマに、昨年よりも子供向けのイベントを増やし、楽しく遊びながら自然の大切さを学び、自分の身をもって自然を肌で感じて体験することで、「人・もの・自然に感謝」の気持ちを浜松の未来を担う子供たちに伝え、アースデイ精神を次世代へ繋いでいくことを目的としてイベントを行いました。



出店展示エリアの様子↑



ワークショップの様子↑

9時30分、賑やかなアフリカン太鼓の演奏からアースデイはまつ2011がはじまりました。

アースデイはまつメイン企画である遠州灘でのビーチクリーンでは、家族連れや中高生をはじめ、子供たちも積極的に参加し幅広い年齢層の方にゴミ拾いの気持ちよさを知ると共に自然の大切さを感じることができました。今年は燃えるゴミ約140kgが集まりました。



ステージでのアフリカン太鼓の様子↑



ビーチクリーンの様子→



砂浜のゴミを拾う子供たち↑



拾ったゴミの量約 140kg→

ステージイベントでは、小学生以下を対象にした「エコ絵画コンクール」やトークショーを開催しました。

「エコ絵画コンクール」では、子供たちが日頃行っているエコ活動(エコ自慢)を絵に描いてもらい、応募総数45作品の中から事前審査で16作品を選出し、会場に展示しました。イベント当日、来場者の方々の投票により、エコ自慢大賞などの表彰を行いました。アースデイはまつでは初めての企画でしたが、来場した作者の子供たちは、展示してある自分の絵に喜び記念撮影するなど、浜松のエコ自慢が集まる元気で楽しいイベントになりました。



1番得票数が多かったエコ自慢大賞は、金子玄くんの「地球のためにできること」です。
電気料金節約のための節電ではなく地球のための節電を素直に表現した作品です。
大人たちも学ぶことがあると思います。



1番得票数が多かった金子玄くんの作品↑



エコ絵画コンクール表彰式の様子↑

会場の芝生広場では、環境保護やエコな取り組みをしている市民団体や企業が「エコでつながる」場となり、会場を盛り上げてくださいました。無農薬有機野菜、オーガニックフード、フェアトレード雑貨、手作りのアクセサリなどの販売、また市民団体や各企業の展示、羊、ヤギ、犬、猫たちと触れ合うブース、絵本のかえっこ会など、過去最多である47団体の方に出品展示していただきました。地球を愛し自然を愛する仲間として、アースデイはままつにご賛同くださり、ご協力いただきまして、今後もこの”つながり”を大事にしていきたいと思ひます。

ワークショップでは、ペットボトル風車が完成して、風車を風に揺らしながら嬉しそうに歩く子供たちの姿をたくさん目にしました。”ものづくり”体験を通して、身の回りにあるもので自分の力でおもちゃが作れることの楽しさ、ものの大切さ、自然の大切さを感じてもらえたと思ひます。



ワークショップの様子↑



ペットボトル風車で遊ぶ女の子↑



手作りのおもちゃで遊ぶ子供たち↑

駐車場では、電気自動車の展示と試乗会を行い、ミニカー登録で実際に公道を走れるコンバートEV(ガソリンエンジンを電気モーターに改造した車)の魅力を感じました。

また、電気自動車を展示していただいた(株)エンジニアリング様には、「ものづくりから考えるエコ」としてステージでトークショーをしていただきました。電気自動車やものづくりへの熱い思いを語っていただき、ものづくり精神を次世代へ伝え、子供たちの創造力を育むだけでなく、地球上の限られた資源を有効利用することで、自然を守り地球にやさしくエコな街づくりに繋がることを学ぶことができたと思ひます。

トークショーの様子→
(株)エンジニアリング様(中央)



電気自動車→
(コンバートEV)



今回は、東日本大震災にともない、「つながろう日本！緊急トークショー”今、私たちにできること”」と題して、実際にボランティアとして被災地に行かれた静岡文化芸術大学の学生に被災地の現状をお話いただきました。

被災地の現状は変化しています。正確な情報を入手し、ニーズに合った支援、ボランティア協力をを行うことが大切です。

日本だけでなく世界中で地球や自然のこと、エネルギー資源のことを真剣に考えて行動する時がきています。本当に地球のことを考えて行動し、本当に大切なものを守り、一人一人が”地球のために”できることを小さなことから少しずつ実行していきましょう。

アースデイはままつは、今年で4年目を迎え、昨年7月に代表を交代し新体制での組織運営を開始しました。

新体制のアースデイで初めての4月のイベントとなり、準備を進めていく上で失敗の連続でしたが、一つ一つが教訓となり、“地球のために地域のために”という気持ちで活動してまいりました。来場者数は昨年より減少しましたが、多くの方々にご来場いただき感謝の気持ちでいっぱいです。

ご協賛くださった企業、団体、個人の皆様や出店展示くださった皆様をはじめ、ご支援ご協力くださった皆様に心よりお礼申し上げます。



出展者・スタッフ一同での記念撮影

今後もアースデイはままつは、イベント活動を通してできた“つながり”を大切に、地球の自然を守り、アースデイ精神を次世代へ伝え、エコで元気な街づくりを浜松から世界へ発信していくために、一步一步誠実に活動を続けてまいります。

誠に簡単ではございますが、以上で「アースデイはままつ2011」の報告とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。